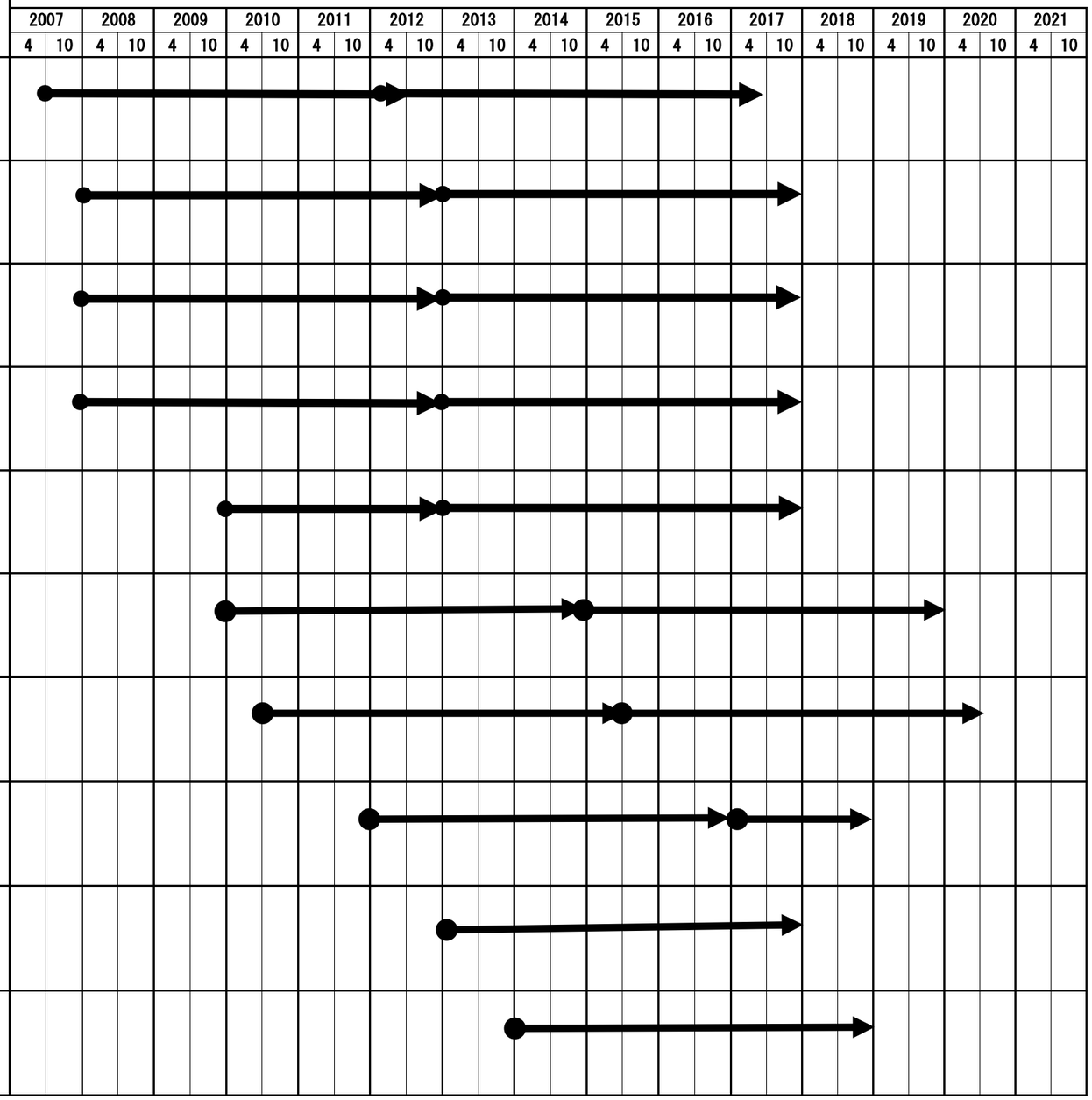
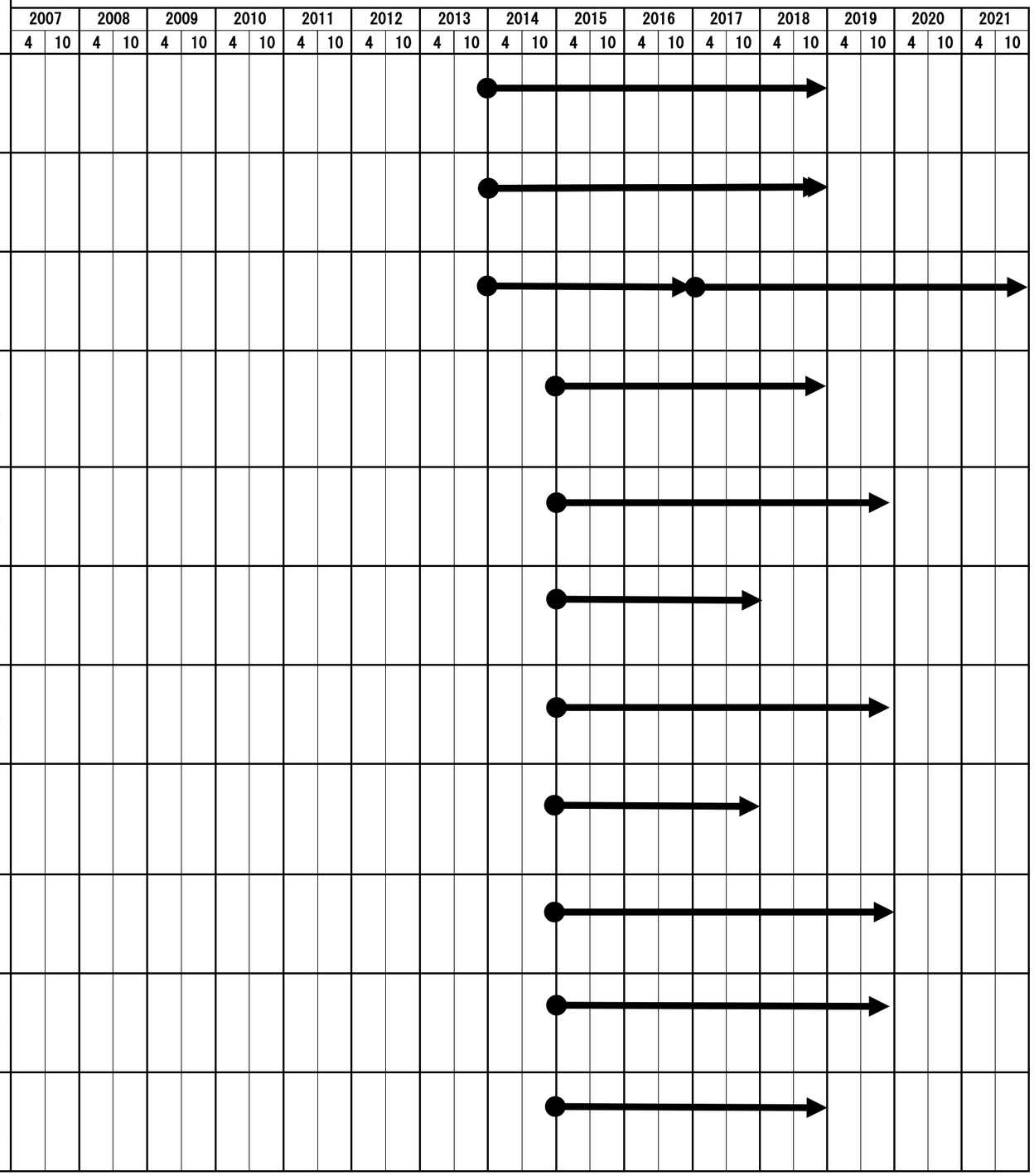
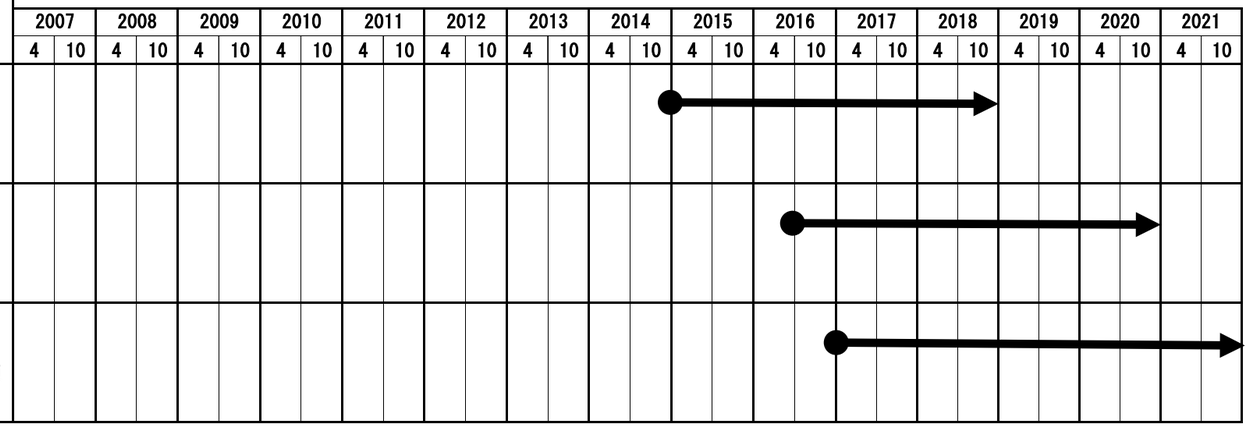
表6-12　特定プロジェクト研究センター制度の活用状況（2017.05.01現在）

	特定プロジェクト研究センター名 （研　究　目　的）	センター長 （研究代表者） 所属・職名	設置場所
1	サイエンス映像研究センター 自然や社会科学の先端研究を映像化し、学際的かつ社会的な理解を深め「科学創造立国」をめざす。また、映像教材を活用して子ども達に科学を感動的に伝える表現活動をする。	畑　祥雄 総合政策学部教授	神戸三田
2	数理科学研究センター コンピュータ支援研究と金融保険理論研究を２本柱として、数学の発展を自然科学や社会科学の学問に応用し、また、応用面から具体的な問題の示唆を受けることを目的とする。	大崎　浩一 理工学部教授	神戸三田
3	言語学習者のためのポルトフォリオ研究開発センター 言語学習者のためのポルトフォリオ(主に、欧州評議会で開発された言語学習の成果記録)を研究し、日本版ポルトフォリオを実用化し、現代語学習の新たなプログラムを開発する。	中川　慎二 経済学部教授 言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科教授	西宮上ケ原
4	ＳｉＣ材料・プロセス研究開発センター 革新的な省エネルギー技術の一つとされる炭化ケイ素（SiC）半導体の材料・プロセス技術の開発に挑戦し、「サステイナブル（持続可能）」な社会の実現に貢献していく。	大谷　昇 理工学部教授	神戸三田
5	観光学・まちづくり研究センター 民俗学、社会学、社会福祉学、社会政策、経済学、経営学、スポーツ科学等、学際的な立場からの観光とまちづくりの現状分析と、観光まちづくり支援の手法開発及びその具体的な実践を目的とし、学問的成果を社会貢献につなげていく。	木山　実 商学部教授	西宮上ケ原
6	イノベーション研究センター 今日日本は、各方面で"変革"が求められているが、特に、日本経済が直面する緊要な課題としての技術面、経済面でのイノベーションを対象に、そのメカニズム、政策などを多面的、学際的に研究し、そして社会に提言することを目的とする。	宮田　由紀夫 国際学部教授	西宮上ケ原
7	応用心理科学研究センター 実証的心理科学の成果を産業界や広く社会へ積極的に発信する研究拠点を形成することを目的とする。特に、様々な事態でのインタラクションを評価するシステムを構築し、さらに遠隔地間コミュニケーションに関する基礎的知見の提供を行う。	片山　順一 文学部教授	西宮上ケ原
8	グローバル・ポリシー研究センター グローバル化の政策面におけるインプリケーションを研究し、その成果を世に問うことを目的とする。	小池　洋次 総合政策学部教授	神戸三田
9	感性価値創造研究センター 産業や生活環境における新たな感性価値を創出するため、科学・技術・芸術を融合した新しい方法論の研究を行う。また企業との共同研究を通して実社会の現場における様々な課題に取り組み、方法論の有効性を検証する。	長田　典子 理工学部教授	神戸三田
10	政治行動研究センター 政治行動並びに政治意識についての学際的研究交流を促進する。	山田　真裕 法学部教授	西宮上ケ原



	特定プロジェクト研究センター名	センター長（研究代表者）	設置場所
	（研　究　目　的）	所属・職名	
11	バイオ・ロボティクス研究センター 本研究では高齢者の自立した生活に不可欠な、最も基本的な動作の一つである歩行”をテーマに、脳活動と筋活動の新たな相関を見出し、得られた知見を基に健康維持・増進や自立支援のための新たな手法や機器を開発することを目的としている。	嵯峨　宣彦 理工学部教授	神戸三田
12	リスクデザイン研究センター 減災や復興をキーワードとし，無数にあるリスク間の関係性を読み解き，社会的公正に照らした最適解へと再配置する「リスクのデザイン」に関する調査・研究及びその成果の公表を柱とした活動を行うことで，被災地の再生と日常の持続可能性に寄与することを目的とする。	長谷川　計二 総合政策学部教授	神戸三田
13	グローバル日本文化教育研究センター グローバル世界における日本文化の発信と創造を担う人材形成を図るカリキュラムと授業の開発・実践研究の推進を目的とする。	峯岸　由治 教育学部教授	西宮聖和
14	手話言語研究センター 手話言語をテーマとした研究の振興、研究者の養成、手話言語教育の推進・充実を図ることを目的とする。	山本　雅代 国際学部教授	西宮上ケ原
15	社会心理学研究センター 社会心理学およびその関連領域に関心をもつ本学研究者の相互交流を促進し、研究の活性化を図るとともに、学外に対して研究の可視性を高め、成果を学界だけではなく社会一般に広く還元することを目的とする。	三浦　麻子 文学部教授	西宮上ケ原
16	技術革新と寡占競争研究センター 本学に所属する産業組織論の理論、実証分析の研究者の共同研究を通じ、寡占市場を両面市場として捉え当該市場の企業の技術開発戦略に注目し、両面市場で寡占競争する企業間の技術革新が動学的にもたらす均衡経路と経済厚生に与える影響を理論的・実証的に解明し、競争政策の含意を明らかにすることを目的とする。	新海　哲哉 経済学部教授	西宮上ケ原
17	グローバル・アントレプレナーシップ教育研究センター アントレプレナーシップ教育の研究・実践を目的とする。	定藤　繁樹 経営戦略研究科教授	西宮上ケ原
18	遅延・分断耐性ネットワーク先端研究センター 劣環境下における情報ネットワーク（遅延・分断耐性ネットワーク（Delay/Disruption-Tolerant Networking））を実践するための研究を実施することを目的とする。	大崎　博之 理工学部教授	神戸三田
19	光医療技術・情報研究センター 医用光学と情報解析を統合した技術の開発とその実用化を目的とする。	佐藤　英俊 理工学部教授	神戸三田
20	シルクロード研究センター 東西文明の交渉の歴史を中心に、シルクロードが果たした歴史的役割の解明と現状の把握、及び周辺地域の発展可能性について研究することを目的とする。	山　泰幸 人間福祉学部教授	西宮上ケ原
21	島国と海洋文化研究センター 島国文化と海洋文化について主に人文科学・社会科学領域から調査・研究を行うことを目的とする。	森田　雅也 文学部教授	西宮上ケ原



	特定プロジェクト研究センター名 （研　究　目　的）	センター長 （研究代表者） 所属・職名	設置場所
22	危機言語および地域言語プロジェクト研究センター 日本および国外の危機言語および地域言語の記述・分析を目的とする。	本田　盛 総合政策学部教授	神戸 三田
23	社会情報学研究センター 学内の関連分野を専門とする教員、国内・海外の大学における第一線の研究者、ICT関連の産業界における実務経験者、および知的財産権の専門家らにより、情報メディアを社会的観点から検討するための研究拠点形成を目指す。	角谷　和俊 総合政策学部教授	神戸 三田
24	女性活躍推進研究センター 女性労働問題についてSNSの構築から情報収集、分析、仮説、政策提言までを一気通貫で行い、その成果を広く社会に還元する。	大内　章子 経営戦略研究科准教授	西宮 上ケ原